2011.11.24
エルイー創造研究所

揚輝荘活用基本計画（案）

Ⅰ　基本的な考え方（案）

市民交流によりまちの魅力を高める
～地域の歴史的資源を守り、伝え、創る～

まちづくりの拠点として市民交流の場とするとともに、文教地域の利点を生かし、多様な人材の活躍により地域の歴史的資源をさらに磨き、まちの魅力を高めていきます。

まもる

都心部に残った貴重な歴史的建造物と庭園のある良好な環境を保全し、市民に公開します。

- **歴史的建造物を良好な状態で維持し、市民に公開します。**
- **庭園の維持保全に取り組み、市民の憩いの場とします。**
- **季節に応じたイベント開催など、自然との共生を体感できる機会をつくります。**

つたえる

揚輝荘の魅力や近代名古屋の形成に大きく寄与した建設者の伊藤次郎左衛門祐民氏の多岐に渡る活発な活動を後世に伝えるとともに、地域の歴史や文化を伝えていきます。

- **伊藤祐民氏の業績や活動を紹介することで、近代名古屋の歴史を伝えます。**
- **地域にある歴史的な場所とともに、地域の歴史を伝えます。**
- **市民が地域文化を学習できる場とします。**
- **伝統文化の継承を支援します。**

つくる

地域の人の交流だけでなく、国際交流なども含めた多様な人びととの交流を図ることで、創作活動を誘発し、新たな地域文化の創造につなげます。

- **まちづくり活動の拠点とします。**
- **多文化交流の場とします。**
- **多様な人材が活躍できる場とします。**
- **イベント企画により市民交流を促進します。**

Ⅱ　揚輝荘の活用方針（案）

■来訪者サービス方針

市民に開かれた施設 **もてなしの精神で対応**

■事業実施方針

○展示事業

常設展示及び企画展示

○交流事業

国際交流事業、地域交流事業、まちづくり拠点

○研究支援事業

近代名古屋、地域文化、多文化共生など研究支援

○創造支援事業

地域文化創造、市民交流につながる創造活動を支援

■活用計画

次に示す整備段階に応じた活用計画とします。

第 1 段階　聴松閣整備後

第 2 段階　座敷・南庭園整備後（南園整備完了）

第 3 段階　北園整備後

(1) **第 1 段階**

南園の活用計画

○聴松閣　　有料にて公開（建物の価値を紹介）

常設展示　揚輝荘の説明、近代名古屋の資料展示（建物・庭園、地域のまちづくり、祐民氏の業績資料を中心に）

施設目的に合った企画展示の実施

庭を眺めながらの喫茶

各種交流事業に活用

管理事務所

○座敷　　非公開（整備工事着手前は外観のみ公開）

○蔵　　非公開（収蔵スペース）

○南庭園　　整備状況に応じて公開

北園の活用計画

暫定公開（無料）

○伴華楼　　人数を限定した見学会の実施

伝統行事等文化的な催しに活用

○伴華楼増築部　管理事務所
○蔵　　非公開（収蔵スペース）
○北庭園　　見学コース、地域交流イベント実施
○三賞亭　　限定利用（お茶会等）
○白雲橋　　イベント時の舞台

(2) 第 2 段階
南園の活用計画
　有料にて公開
○聴松閣　　第 1 段階と同様
○座敷　　まちづくり拠点として、会議室や事務局機能
　　企画展示
　　管理事務所
　　案内人詰所
　　地域文化の研究支援、創造支援などのための部屋貸し
○蔵　　展示等に活用
○南庭園　　公開

北園の活用計画
　第 1 段階と同様

(3) 第 3 段階
南園の活用計画
　第 2 段階と同様

北園の活用計画
　有料にて公開
○伴華楼　　公開(人数限定)
　　１階：常設展示（鈴木禎次を中心とした名古屋の建築家の系譜、庭園紹介）
　　２階：伝統行事等文化的な催しに活用
○伴華楼増築部　１階は案内所兼休憩所、２階は管理事務所
○土蔵　　展示等に活用
○ＲＣ造蔵　非公開（収蔵スペース）
○北庭園　　見学コース、地域交流イベント実施
○三賞亭　　申込制による貸出し
○白雲橋　　イベント時の舞台

Ⅲ　管理運営の考え方（案）

～市民交流を促進するための管理運営のあり方～

施設の管理運営は、指定管理者制度を活用し行います。以下の事項について提案を求め、管理者を選定します。

(1) **歴史的建造物を良好に保全し、かつ市民に広く公開するための管理運営方法**
(2) **庭園の維持保全をし、かつ市民へ憩いの場を提供するための管理運営方法**
(3) **揚輝荘の魅力や地域の歴史や文化を市民に伝えるための企画**
(4) **地域文化の創造につながる交流事業**
(5) **市民交流を促進するため、施設の管理運営に関する市民参加方法**
(6) **施設利用者がまちづくり活動に関わる仕組み**
(7) **多様な主体が協働し事業を実施する仕組み**
(8) **施設管理運営や事業実施に関する市民の評価を反映する仕組み**

2011.11.24
エルイー創造研究所

聴松閣活用・展示計画（案）

Ⅰ　基本的な考え方

揚輝荘は、松坂屋百貨店の創始者である 15 代伊藤次郎左衛門祐民氏の別荘として、大正から昭和初期にかけて覚王山の丘陵地に建設された、名古屋の近代における郊外別荘の代表作です。周辺開発の影響で、敷地の大半が失われましたが、平成 19 年 3 月に名古屋市に寄贈され残された建物と庭園は、歴史的、文化的価値の高いもので、地域の文化資源として市民の誇りとなっております。

中でも、昭和 12 年に建設された聴松閣は、優れた技術を残した建築的な価値に加え、建設者祐民氏の社会活動を伝える歴史的な価値も持っています。

これらの状況を踏まえ、聴松閣活用と展示計画にあたっては、次のような考え方で進めます。

- 建設当時に修理復原した聴松閣の建物そのものを見てもらい、揚輝荘を知ってもらいます。
- 近代名古屋の成立過程をバックグラウンドにして、揚輝荘の建設者伊藤祐民氏の業績を広く市民に伝えます。
- 揚輝荘のある城山・覚王山地区の歴史や文化、まちづくりについて紹介します。
- 歴史的価値のある空間を活用した企画展示などにより、創造性を触発される場とし、質の高い地域文化創造につなげます。

Ⅱ　空間構成（ゾーニング）・動線計画

聴松閣玄関からの入館　※座敷整備後は変更の可能性があります。

・聴松閣の入場料を徴収します。
・事務室を管理事務所として活用します。
・下駄箱及び靴袋設置（選択）、スリッパ用意
・雨天時は玄関前に傘立てを設置します。

Ａ　近代名古屋伝承ゾーン

聴松閣 1 階を中心に、常設展示

・揚輝荘の歴史展示・・・旧居間（1F）
・伊藤次郎左衛門祐民氏の経歴紹介・・・旧サンルーム（1F）
・祐民氏の時代（明治～昭和初期）の名古屋の財界や社会状況の紹介
・まちづくり、地域紹介・・・旧応接室（2F）

Ｂ　地域文化創造ゾーン

聴松閣 2 階を中心に、企画展示

・展示活用室・・・旧寝室 A、寝室 B、旧 2 階サンルーム、旧南更衣室（2F）

Ｃ　市民交流ゾーン

聴松閣地階を中心に、会議、イベント利用

・各種交流イベント開催・・・舞踏場、舞台（B1F）
開館時間は、見学可能な状態で使用（無料）
夜間は、有料の貸室として活用。
・会議・打合せ利用
・・・旧納戸（B1F）　貸室利用
交流スペース（2F　EV ホール）

Ⅲ　運営計画

■開館時間／午前 9 時 30 分～午後 5 時
■休館日／月曜日（祝日の場合は直後の平日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
■入場料（南園のみ）／大人 300 円、定期入場券大人 1,200 円　※中学生以下は無料
■貸室
①舞踏場及び舞台（B1F）（81 ㎡）
夜間のみ利用内容を確認し貸し出す。
利用料金
夜間（17：00～20：00）　2,400 円
②旧納戸（B1F）（15 ㎡）・・・会議室、控室として利用
利用内容を確認し貸し出す。
料金
午前　（ 9：30～12：30）　400 円
午後　（13：00～16：30）　500 円
夜間　（17：00～20：00）　300 円
利用申込み
①は利用日の 6 ヶ月前の初日から先着順に受付
②は利用日の 3 ヶ月前の初日から先着順に受付。ただし、①の控室として利用する場合は優先
飲食持込可、ゴミ持ち帰り、火気厳禁

Ⅳ　必要な調度品・備品

■家具
大正から昭和初期頃の椅子や机を購入し展示
揚輝荘に現存するものがあれば使用
設置場所：旧居間、喫茶室、旧書斎、旧応接室
＊来場者の使用を認める。
■備品
展示用備品（展示器具　等）
イベント用備品（プロジェクター、ホワイトボード、椅子、机　等）
事務備品（机、椅子、傘立て、ロッカー　等）

Ⅴ　展示内容の検討

■説明パネルＡ
近代名古屋伝承ゾーンの説明
■説明パネルＢ
建物の説明（部屋又は仕上げなど）
■図面展示
聴松閣の設計図
■書籍・資料
揚輝荘に関する書籍、資料等

聴松閣展示計画案

１．説明パネルＡ

①揚輝荘の説明（１）
・揚輝荘とは
「揚輝荘」小史
戦前（昭和 14 年頃）の建物配置
②揚輝荘の説明（２）
・揚輝荘の主な建物概要（現存しているもの、していないもの）（「揚輝荘主人遺稿」などより）
③揚輝荘の説明（３）
・聴松閣の概要
用途の変遷等
特にアジアからの留学生との関係
④揚輝荘の説明（４）
・揚輝荘保存・活用に向けての取り組み
建築士会の取り組み（国際建築トリエンナーレ）
城山・覚王山地区魅力アップ事業（まちづくりの中での保存・活用の動き）
⑤南庭園の紹介
庭園案内図、見どころ紹介
灯篭等の説明
植生の説明
⑥伊藤次郎左衛門祐民の紹介（１）
伊藤家の歴史、祐民の生涯　年譜
⑦伊藤次郎左衛門祐民の紹介（２）
祐民の業績紹介　事業家としての業績、財界活動、社会事業（衆善会）
⑧近代名古屋の財界・社会状況について（１）
・明治から昭和初期の名古屋の発展について
都市づくりの一環としてのデパートづくり
名古屋駅、名古屋国際ホテル、名古屋市公会堂など
⑨近代名古屋の財界・社会状況について（２）
日泰寺誘致と寺院の移転、名古屋東部へのまちの発展
⑩地域の歴史、自然、文化について（１）
地域の歴史　東山古窯群、城下町郊外（尾張名所図絵など）
⑪地域の歴史、自然、文化について（２）
地域の自然　植生、ため池
地域の文化　文教地区、商店街の活動など
⑫祐民インド旅行
インド旅行
インド等の意匠を取り入れた地下空間の説明（野々垣氏）

２．説明パネルＢ　　＊揚輝荘主人遺稿などの写真を示しながら主に部屋の紹介

①地下通路の説明
②壁画の説明
③舞踏場の説明
④女神像・暖炉彫刻等の説明
⑤玄関床・扉の説明

⑥ホール・階段の説明
⑦居間の説明
⑧サンルームの説明
⑨旧食堂の説明
⑩旧書斎の説明
⑪旧応接室の説明
⑫ホール・吹抜の説明
⑬旧寝室の説明

３．現物展示

１）図面等（写しを展示）
揚輝荘平面図（青焼図面）（伊藤家所有）
東山山荘新築設計図（青焼図面）（伊藤家所有）
揚輝荘　第２女子寮図（松坂屋名古屋店営繕部所有）
揚輝荘座敷図面（伊藤家所有）
聴松閣棟札

２）家具
大正から昭和初期頃の椅子や机を購入し展示（揚輝荘に現存するものがあれば使用）
設置場所　　＊来場者の使用を認める。
旧居間、喫茶室、旧書斎、旧応接室

3）書籍・資料
2 階旧書斎に揚輝荘に関わる書籍・資料（写し）を展示
・『戊寅年契』
・『揚輝荘主人遺稿』
・『伊藤祐民伝』
・『揚輝荘、アジアに開いた窓　選ばれた留学生の館』
・『十五代伊藤次郎左衛門祐民追想録』
・『衆善会のあゆみ 60 年』
など
昭和初期の図書の寄付を募り展示

＊来館者がその場で閲覧できるようにする。

４．ビデオ上映

１階旧居間にて上映
・揚輝荘の紹介（オリジナルで制作）
・聴松閣復原工事の記録映像
・祐民インド旅行映像（長谷川傳次郎撮影）

以上

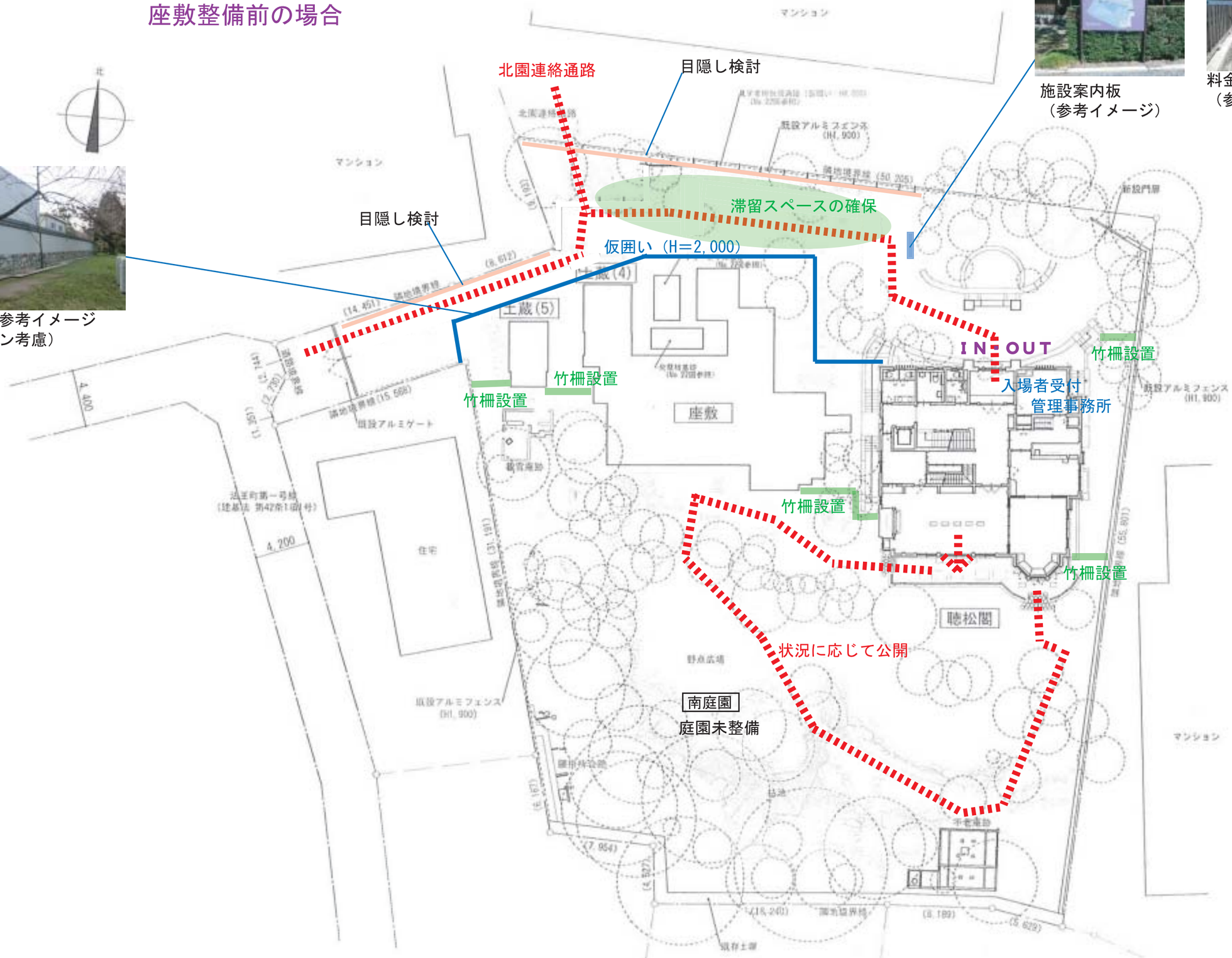
第1段階
座敷整備前の場合

仮囲いの参考イメージ
（デザイン考慮）

施設案内板
（参考イメージ）

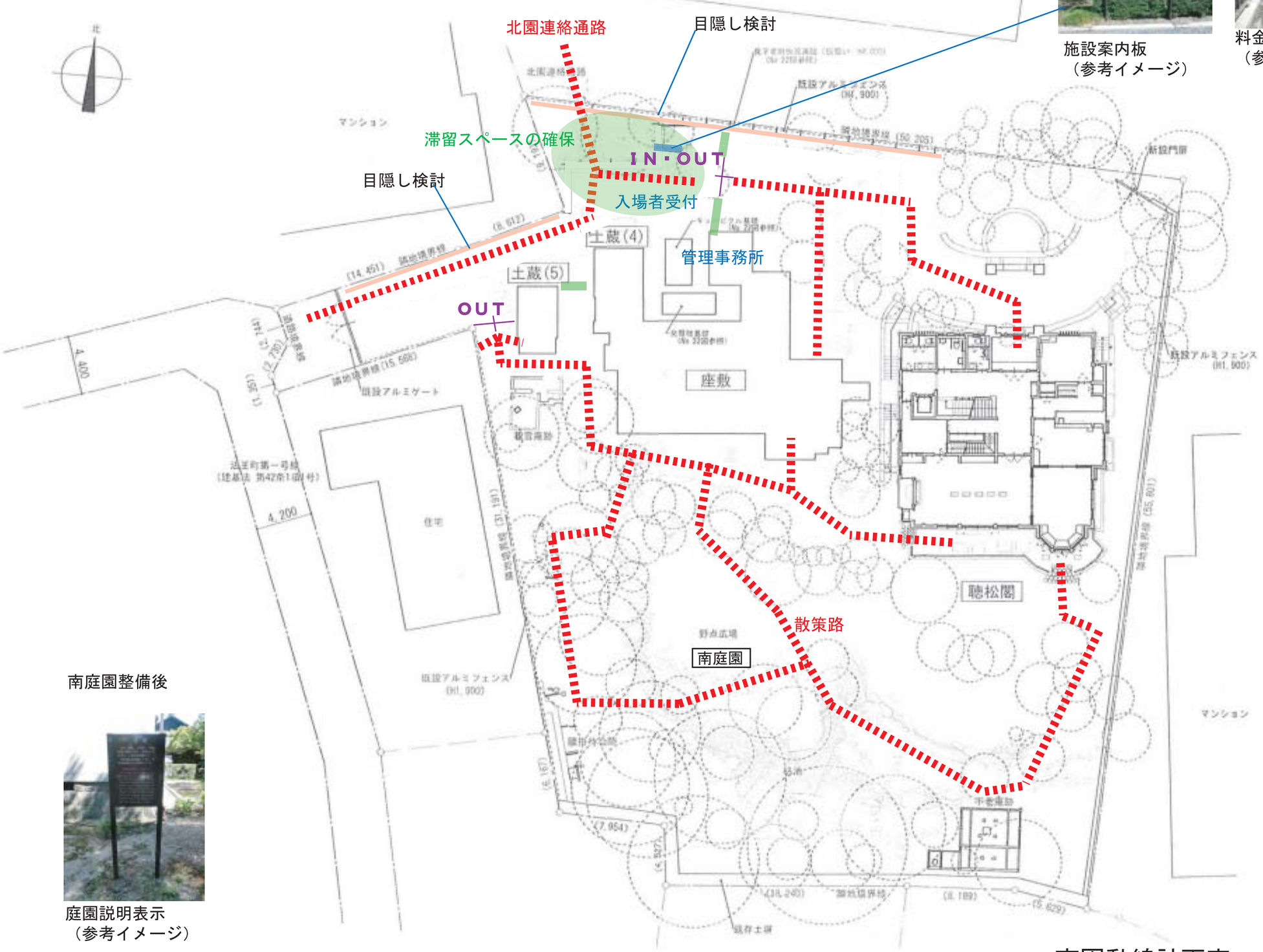
料金表示
（参考イメージ）

竹柵のイメージ



南園動線計画案

第2段階
座敷・南園整備後の場合



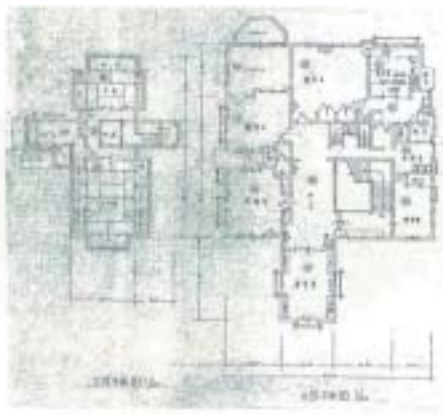
施設案内板
（参考イメージ）

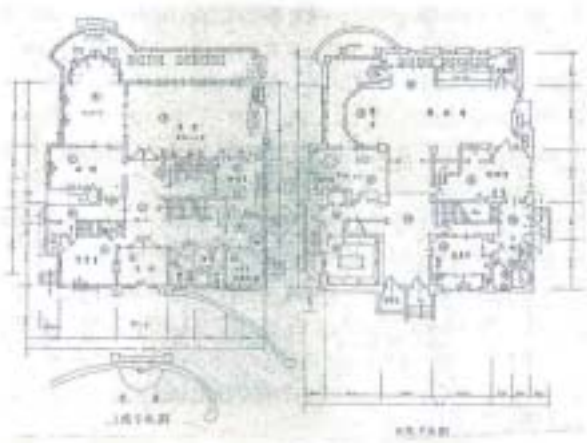
料金表示
（参考イメージ）

南庭園整備後

庭園説明表示
（参考イメージ）

南園動線計画案



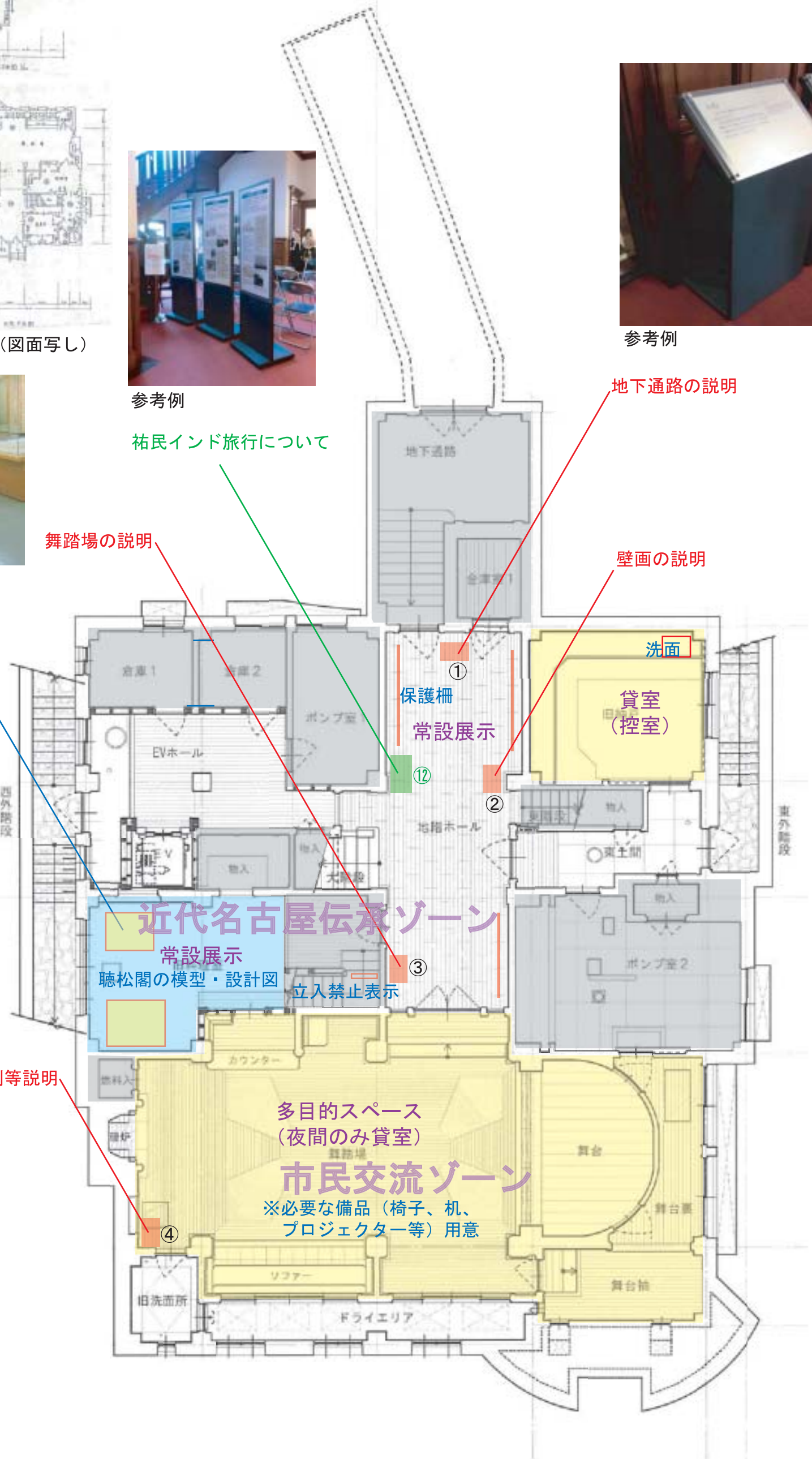


変更前・変更後など展示（図面写し）

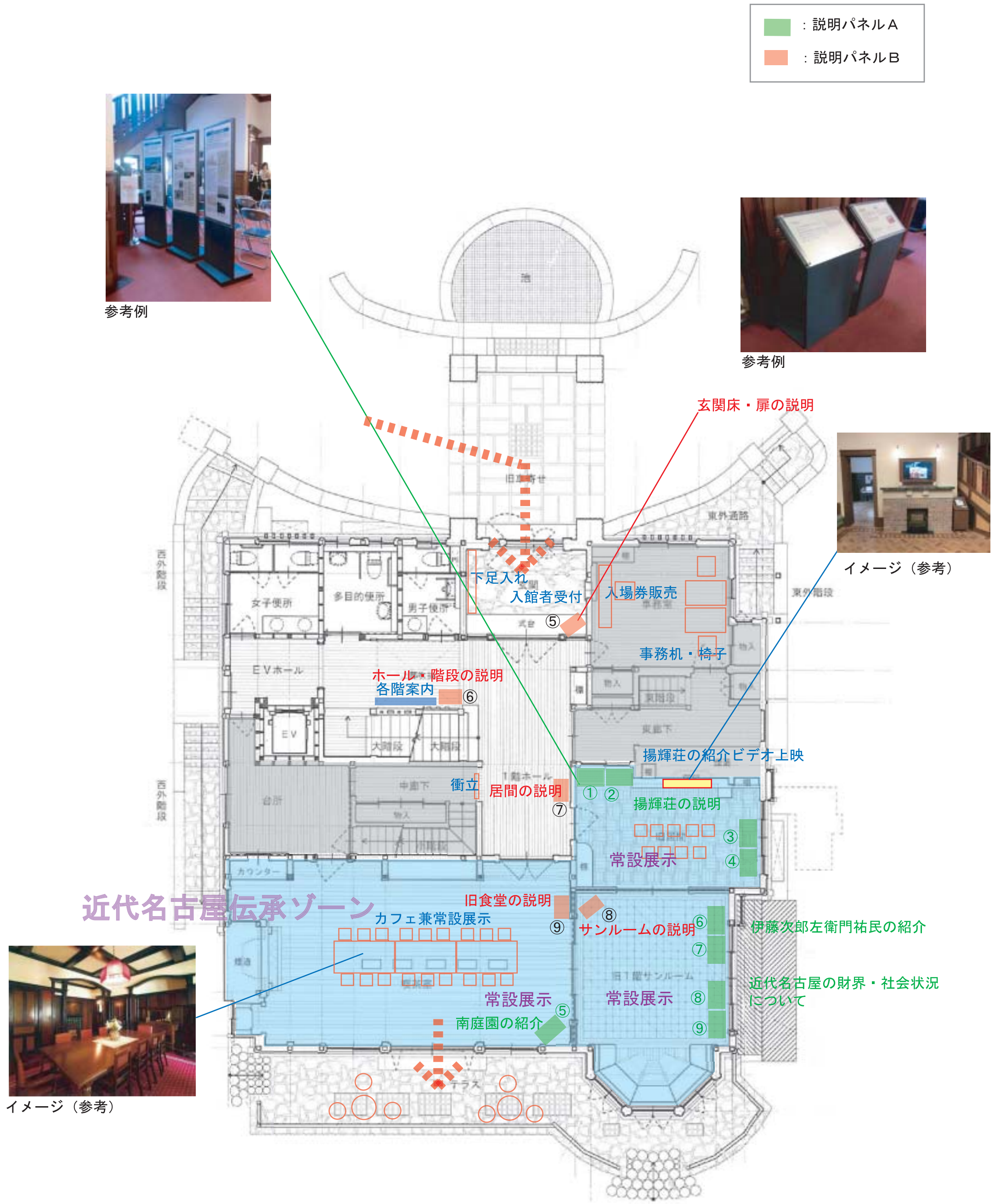
参考例

参考例

参考例



聴松閣　地下１階　展示計画案

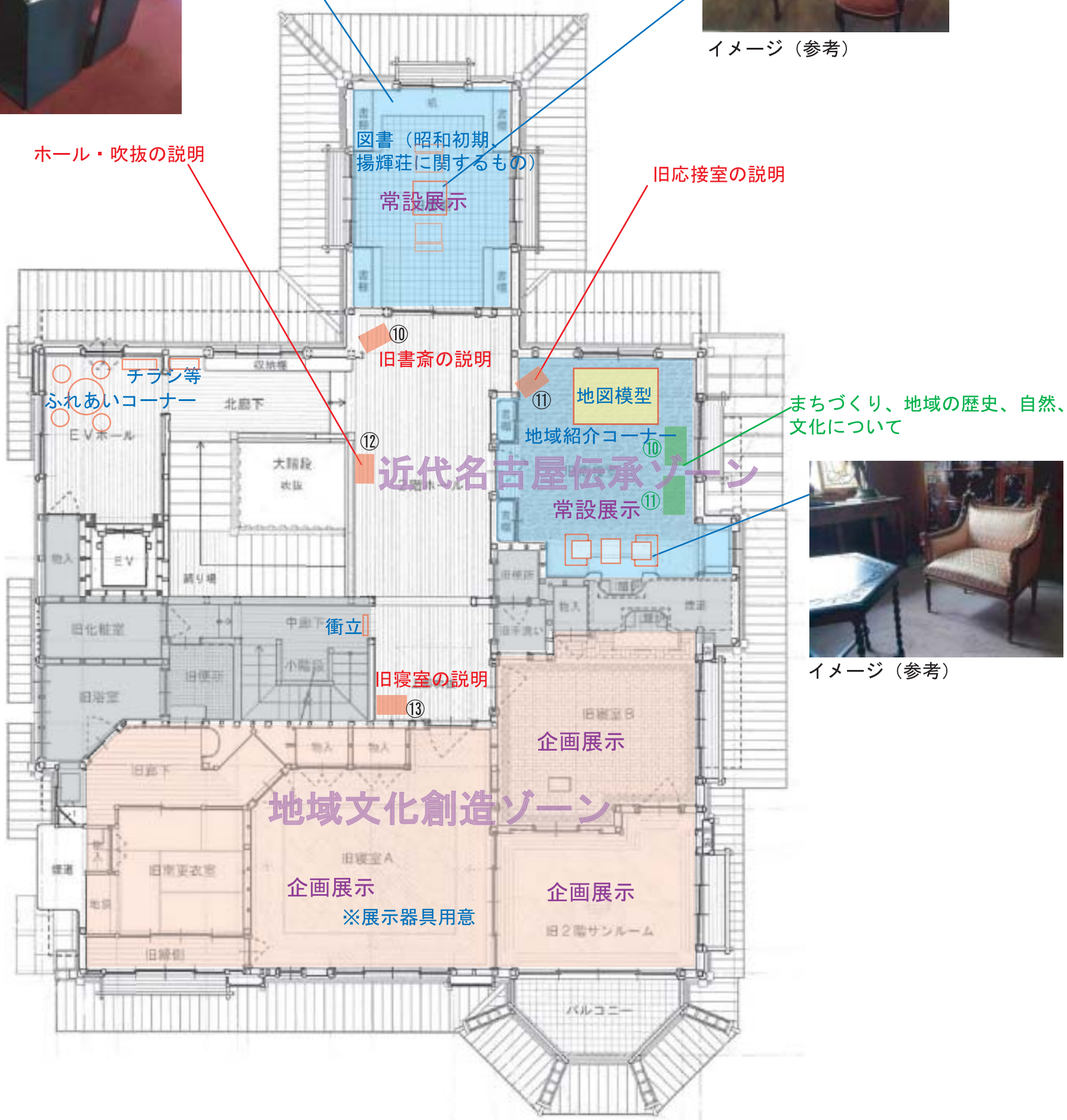

：説明パネルＡ
：説明パネルＢ
参考例
参考例
玄関床・扉の説明
イメージ（参考）
下足入れ
入館者受付
⑤
入場券販売
事務机・椅子
ホール・階段の説明
各階案内
⑥
揚輝荘の紹介ビデオ上映
衝立
居間の説明
⑦
①
②
揚輝荘の説明
③
④
常設展示
近代名古屋伝承ゾーン
旧食堂の説明
⑨
⑧
サンルームの説明
カフェ兼常設展示
⑥
伊藤次郎左衛門祐民の紹介
⑦
近代名古屋の財界・社会状況
について
⑧
⑨
常設展示
⑤
南庭園の紹介
常設展示
イメージ（参考）
女子便所
多目的便所
男子便所
EVホール
EV
大階段
台所
カウンター
東外通路
東外階段
西外階段
旧1階サンルーム
テラス

聴松閣　１階　展示計画案

イメージ（参考）

参考例

イメージ（参考）



イメージ（参考）

※企画展示：施設管理者が来館者サービスの一環として展示等に活用する場所

聴松閣　２階　展示計画案